

市民的啓蒙の原像を求めて

講師: 中村元保(大阪大学名誉教授)

日時: 1月26日(水)14:40~16:10

場所: 大阪大学文学部ドイツ文学研究室(本館4F)

内容: 市民的啓蒙の実現をめざす運動がドイツ語圏で本格化したのは、18世紀のことです。道徳・宗教・科学・芸術といった諸領域が未分化であったこの時代、知識人たちはさまざまなネットワークを形成し、身分制秩序に対抗する新たな個人、およびそれら個人からなる社会のあるべき姿を模索していました。

啓蒙のこうした動きは、日本では1970年代以降、文学研究の重要なテーマとなり、とりわけ関西はその中心地として、国際的な成果を生み出してきました。本講演では、関西での研究活動を長く牽引してこられた中村名誉教授に、啓蒙研究の展開について学問史的な観点からお話しいただきます。

主催 大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文学」/
「美的近代におけるローカリズムと反ローカリズム」研究PT

問合せ 大阪大学文学研究科ドイツ文学研究室(06-6850-5116)